

令和四年度



三宅村立三宅中学校

学校だより

第 162 号

令和 4 年 11 月 1 日

校長 小澤 秋仁

東京都三宅島三宅村伊豆 470

TEL 04994-2-0049

FAX 04994-2-1376

<http://miyake-chu.sakura.ne.jp/>

横 道

校長 小澤 秋仁

「おおいぬの名前」「しりません」

小学生時代に作った、おおいぬ座の 1 等星シリウスの覚え方です。「知りません」から「しりうせん」になり「シリウス」と頭の中で変換します。何回か唱えたら「おおいぬの名前、しりうせん」と覚えます。「おおいぬ」があるなら「こいぬ」もあるのではと調べると、やはり存在します。一等星は「プロキオン」覚え方は、「子犬の鳴き声、プロクキオン」我ながら強引だなと笑うも、二つの星と、付近のオリオン座の 1 等星ベテルギウスを頂点とする三角形が「冬の大三角形」であることも知りました。横道にそれましたが、知識が広がることに喜びを感じ、楽しみながら自分で覚え方を作ると忘れないとおぼろげに自信をもちました。

教員になってから、この横道にそれていく学びは、スローリーディングと呼ばれる方法に似ていると気づきました。私立灘高校の伝説の国語教師・橋本武先生の授業での取り組みです。物語「銀の匙」を 3 年間かけて読み進めるのですが(詳しくは、『伝説の灘高教師が教える 一生役立つ学ぶ力』日本実教出版)、橋本先生が、「学びは遊び」で、「横道」にそれることで、学ぶ楽しみ、面白さを感じてほしいと願って構築した授業です。文中に百人一首が出てくればカルタをする。百人一首を徹底的に調べ、何か気になれば、それを掘りさげるのです。横道にそれ、すっかりはまった後、本筋をみると前より豊かになった自分がそこにいます。

もう少し横道にそれます。今年はオリオン座の流星群が 10 月 21 日夜から翌未明にかけて極大を迎えました。好条件なら 1 時間に 15 個前後の流星を確認できるという事前情報に期待をしました。その日は出張のため内地に滞在。当日、空を見上げると、排気ガスに汚れた空だからか流れ星はおろか、恒星すら多くは見えません。たしか、過日のしぶんぎ座流星群のときは、伊豆のヘリポートにて 2 時間で数十個の流れ星を目撃したはず。「三宅の夜空は美しい」と島の外に出たことで三宅の魅力を再認識しました。

今、三宅中生は、三宅島の魅力を体験する企画『東京都版エコツーリズム』に参加しています。貴重な自然を守りながら観光利用を図ることが目的で、都公認のガイドさんを先導に、雄山の登山が可能になりました。私を含め、三宅中の生徒達は雄山を有する三宅島に生活しながら、未だ雄山の火口縁に立ったことはありません。三宅村、三宅村教育委員会、三宅村観光協会のご尽力により、生徒達と山頂付近に向かうことができました。御礼申し上げます。

教育目標

「ふるさとの発展に進んで貢献する生徒の育成」

- 1 目標をもって意欲的に学ぶ生徒
- 2 人間性・社会性をはぐくみ、相手の立場に立って行動する生徒
- 3 心身ともに健康で明るい生徒

伊豆避難施設にてガイドさんより活火山雄山の知識を教授していただき、バスで中腹まで移動した後、登山道に登りました。ゴールに到着すると、そこには大陥没!? 目の前の様に、生徒たちは吸い込まれるように見入りました。利島を逆さにしてすっぽり入ってしまう大きさだというから驚き。ガイドさんの解説は、たくさんの横道への入口を紹介してくれます。陥没により形成された内側の壁面は縞模様となっています。地球のもつ壮大な力が形となって表現されていました。2000 年の噴火は、カルデラの形成に伴う山頂部の消失、泥流の発生、火山灰、火山ガスなどにより植生を壊滅させました。しかし、2022 年の秋は、ハチジョウススキが一面を覆い、所々にオオバヤシャブシが根をはり、美しい表情を見せていました。

さらにガイドさんが、足元の小さな花に解説を添えます。「その白い花はセンブリ。少し前までは見る事ができなかった。地中でエネルギーを蓄え、20 年の時を超えて芽吹いた。」小さいながらもかたくなに咲いています。三宅島は、噴火に屈することなく、耐えながらもエネルギーに、そして、確実に前進しています。



橋本先生のスローリーディングを行う授業のきっかけは、「何とか心に残る授業を作りたい」という想いからでした。横道にそれることなく、一本道をスローに登りましたが、生徒と私たちの心に残る授業となりました。

11月5日(土)保小中高合同音楽会の

入場者制限について

会場の収容人数に限りがありますので、来場者は保護者・親族、教育関係者に限定させていただきます。保護者・親族もお子様の出演時のみ入場可とし、演奏団体ごとの完全入替制としますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

11月の生活目標

学習や行事に進んで取り組もう

11月の保健目標

姿勢を正しくしよう

小中合同運動会(10月2日)

過去2年間は感染症対策で小中別開催、3年前はインフルエンザ流行で中止だったため、実に4年ぶりの合同開催となりました。



【生徒の感想より】(一部抜粋)

◆みんなで全力を出し、よい運動会になったと思います。実行委員のおかげでみんな楽しく練習ができて、本番も楽しむところは楽しみ、全力を出すときは全力を出せていたので良かったです。(1年 H.M)

◆ムカデ競走では、どんな声掛けが一番いいかたくさん考え、チームのみんなで試行錯誤しました。先頭が大きな声かけをして、後ろの人もそれに応えるような雰囲気たくさん練習しました。つまづいても声をかけてすぐに切り替え、組に貢献できるようなチームにしました。「自分たちが勝つぞ!」と思っていたので、実行委員に言われる前に自然に声が出ました。来年は私たちが最上級生になります。今年よりもって声を出し、同じ組の小中学生を引っ張っていけるようになります。(2年 O.R)

◆最後の1週間は自分の中学校生活の中でもとても思い出に残る楽しさが詰まった1週間でした。最初は自分が全部やらなくてはいろいろな抱え込んでいましたが、たくさんの人の協力があってこの運動会の成功があるのだと思います。どんなに運動が苦手、人と関わるのが苦手という人でも全員で楽しめる空気をつくればそんなの関係ないと思います。楽しいこと苦しいこといろいろな経験をさせてもらいました。経験した人にしかわからない景色と達成感を得られてとても幸せです。来年は今年を超える運動会にしたいと思います。(3年 K.A)

◆この19人で本番に出られてとても嬉しかったです。すべてがスムーズなチームではなかったけれど、最後の運動会をあのメンバーで過ごせて良かったです。最高のチームでした。私たち3年生は中学校生活最初で最後の小中合同運動会を行うことができました。異例の中学校のみを経験し、最後に原点に戻ってこれました。小中合同の再スタートを切った節目の年となりました。こんな3年間を送れた私たちは奇跡の代なのかもしれません。(3年 Y.R)

◆最後は勝っても負けても楽しもうと決めていた。最後のムカデ競走では見事な逆転勝利を果たし、心の中で「終わりよければすべてよし」と笑った。負けてしまったが、最高の一日になったと思う。(3年 S.R)

雄山火山体験入山775

【2年生 10/7 1年生 10/21・11/2 3年生 11/16】

東京都版エコツアーリズム(都認定の自然ガイド同行を義務づけ、立ち入りを限定することで貴重な自然の保護と利用のバランスを図る制度)による雄山への体験入山を4グループに分かれて実施しています。

身近にありながら今まで触れることのできなかった雄大な自然に圧倒されつつも、郷土の自然に誇りを感じられる貴重な体験となりました。



後期生徒会活動スタート(10月11日)

委嘱状を受け取った新生徒会役員と各委員会委員長が力強く抱負を語りました。さらに明るく元気な学校にしたいという熱意が伝わってきました。



令和4年11月 主な予定

2日(水)	雄山体験入山(1年8名)
5日(土)	合同音楽会 12:20 下校
7日(月)	振替休業日
8日(火)	砂防ダム見学⑤⑥
10日(木)	民生委員学校訪問・懇談会
11日(金)	第2回村学力調査 中央委員会 PTA役員会
14日(月)	全校朝礼 専門委員会 心理士巡回
15日(火)	考查前学習会始
16日(水)	雄山体験入山(3年)
17日(木)	農業体験(2年)
18日(金)	交通安全教室
21日(月)	生徒朝礼
22日(火)	期末考查(国技家美) 14:45 下校
24日(木)	期末考查(社英体) 14:45 下校
25日(金)	期末考查(理数音)
27日(日)	3年スピーキングテスト
30日(水)	避難訓練 ⑥カット 14:35 下校

※スクールカウンセラー来校予定日
9(水)・10(木)・14(月)・29(火)

◆学校だよりのカラー版は学校ホームページでご覧になれます。
(「三宅村立三宅中学校」で検索してください。)